

問1 インドで広く信仰されているヒन्दゥー教が、現地の人々の食生活や社会構造に与えている影響について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 牛を神聖な動物として崇めるため、牛肉を食べることを避ける習慣がある。
2. 豚を不浄な動物として遠ざけるため、豚肉を食べることは禁じられている。
3. 徹底した平等主義を掲げ、歴史的な身分制度であるカーストの影響を完全に排除している。
4. 一神教の教えに基づき、偶像崇拝が厳格に禁止されている。

問2 南アジアの自然環境について述べた次の文のうち、ネパールとブータンの地形的・地理的な共通点として正しい記述を選びなさい。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. アフリカ連合（AU）に加盟しており、サハラ砂漠の南側に広がる平原地帯に位置している。
2. ロシアと広大な国境を接しており、一年を通して寒冷な気候が続く広大な平原国である。
3. 海に面していない内陸国であり、ヒマラヤ山脈周辺の地震が発生しやすい地域に位置している。
4. 四方を海に囲まれた島国であり、モンスーンの影響による高潮の被害を最も受けやすい。

問3 中国、インド、ケニア、スリランカなどが世界的な生産上位を占める「茶」の生産背景について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある
2. 高度に機械化された大規模農業が中心であり、主に先進工業国での生産が盛んである
3. 家畜の飼料としての需要が急増したため、広大な熱帯雨林を切り開いた牧場跡地で栽培されている
4. 砂漠化の進行に強い作物であるため、降水量の極めて少ない乾燥地帯の貴重な現金収入源となっている

問4 日本の輸入取引に関する統計資料において、2008年時点で魚介類および野菜・果実の輸入額がそれぞれ国内第1位であり、さらに2010年時点のアルミニウムの輸入額でも第3位となっている国はどこか、次の中から選びなさい。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 中国
2. アメリカ合衆国
3. オーストラリア
4. フィリピン

問5 2000年から2014年にかけてのアジアにおける通信環境の変化と、その特徴について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. 携帯電話の契約数が急増し、固定電話の契約数を大幅に上回るようになった。
2. 固定電話の敷設が優先されたため、携帯電話の普及は北アメリカよりも遅れている。
3. 人口が減少に転じた影響で、2010年以降は携帯電話の契約数も減少している。
4. 経済格差の影響により、携帯電話の契約数はヨーロッパの合計を下回ったままである。

問6 マレーシアでは、1980年には石油や天然ゴムといった資源が中心だった輸出構成が、2023年には機械類が輸出総額の4割以上を占めるまでに変化しました。このような産業構造の変化をもたらした背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 日本企業をはじめとする外国の企業を積極的に誘致し、製造業を育成することで工業化を進めた。
2. 国内企業の独占を保護するために外国資本の参入を制限し、伝統的な農業や資源採掘に特化した。
3. 外国からの投資を断って自国の資本のみで重化学工業を興し、資源を輸出せず国内で消費する体制をとった。
4. 先進国からの経済援助をすべて農業技術の改良に投入し、天然ゴムなどの一次産品の輸出をさらに拡大させた。

問7 インドネシアは21世紀以降、漁獲量を急激に増加させ、2022年には約1200万トンに達しています。このようにインドネシアで漁業が大きく発展した背景にある、この国の地理的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域（EEZ）を保有していること
2. アンデス山脈からの栄養分が流れ込む、寒流の影響を強く受けた海域であること
3. フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線により、波の静かな養殖の適地が多いこと
4. 広大な大陸棚を流れる長大な河川が多く、淡水魚の漁獲が中心であること

問8 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになってきました。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。
2. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。
3. 日本企業の進出が減少したこと、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。
4. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 牛を神聖な動物として崇めるため、牛肉を食べることを避ける習慣がある。	ヒンドゥー教では牛が神の乗り物として神聖視されており、殺生や食用を避ける文化が根付いています。一方で、歴史的には「カースト」と呼ばれる身分制度と深く結びついてきた背景があり、現在も社会的な影響が残っています。豚肉を禁忌とするのは主にイスラム教の特徴です。
問2	<b>答え 3</b> 海に面していない内陸国であり、ヒマラヤ山脈周辺の地震が発生しやすい地域に位置している。	ネパールとブータンは、インドと中国という二つの大国に挟まれた内陸国です。両国とも国土の多くがヒマラヤ山脈の急峻な山岳地帯に含まれています。この地域は地殻変動が激しい造山帯であるため、地震の発生が頻繁であり、過去にも大きな被害を受けてきました。選択肢にあるアフリカ連合への加盟やロシアとの隣接、島国といった特徴はいずれも事実と反します。
問3	<b>答え 1</b> かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある	インドのダージリンやスリランカのセイロン、ケニアなどの茶の産地は、かつてイギリスの植民地であった地域が多く、ヨーロッパへの輸出を目的とした大規模農園（プランテーション）が作られた歴史的背景があります。現在もこれらの国々にとって、茶は重要な輸出用農産物となっています。
問4	<b>答え 1</b> 中国	日本にとって主要な輸入相手国である中国は、地理的な近さを活かして、鮮度が重視される野菜や魚介類などの農水産物を大量に輸出しています。また、工業化の進展に伴い、アルミニウムなどの金属資源の精錬や輸出においても、日本にとって重要な地位を占めています。
問5	<b>答え 1</b> 携帯電話の契約数が急増し、固定電話の契約数を大幅に上回るようになった。	アジアの多くの国々では、広大な土地に電線を引く必要がある固定電話よりも、基地局を設置することで広範囲をカバーできる携帯電話の普及が先行しました。この結果、2000年から2014年にかけて携帯電話の契約数は爆発的に増加し、固定電話の契約数をはるかに凌駕する状況が生まれました。
問6	<b>答え 1</b> 日本企業をはじめとする外国の企業を積極的に誘致し、製造業を育成することで工業化を進めた。	マレーシアなどの東南アジア諸国は、自国だけの資本や技術では不十分な段階において、日本などの外国企業に対して税制優遇などのメリットを与えて誘致しました。これにより、国内に工場が建設されて雇用が生まれ、技術が移転されたことで、資源輸出に頼る経済から機械類などの工業製品を輸出する経済へと大きく転換しました。
問7	<b>答え 1</b> 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域（EEZ）を保有していること	インドネシアは世界最多級の島々を持つ群島国家であり、それぞれの島を基点とした非常に広大な排他的経済水域（EEZ）を有しています。この広大な海域と、赤道直下の豊かな海洋資源を有効に活用するための整備が進んだことが、近年の漁獲量急増の大きな要因となっています。なお、ペルーなどで見られる寒流による好漁場や、ノルウェーなどのフィヨルドといった他国の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問8	<b>答え 1</b> 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。	東南アジアの国々では、日本の10分の1程度という低い平均賃金を背景に、生産コストを抑えたい日本企業の進出が激増しました。これにより、従来の資源輸出に頼る構造から、機械類などの高度な製造業を中心とした工業化が達成されました。この現象は「世界の工場」としての役割が周辺国へ広がった結果といえます。

問1 南アジア諸国の宗教 distribution（分布）について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、インドはヒンドゥー教徒が多数派であるものとする。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。
2. インドの北側に位置するネパールは、世界で唯一キリスト教を国教とする国として知られている。
3. 南アジアの島国であるスリランカでは、インドと同様にヒンドゥー教徒が人口の9割を超えている。
4. 南アジア全域において、仏教が最も信仰されている地域は、パキスタンからアフガニスタンにかけての国境地帯である。

問2 アジア大陸の南部に位置し、インドの北側に東西にわたって連なる世界最高峰の山脈について、その特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 標高8000mを超える山々が連なり、世界の屋根とも称されるヒマラヤ山脈である。
2. 南アメリカ大陸の西側に沿って南北に長く伸びる、標高6000m級のアンデス山脈である。
3. 北アメリカ大陸の西側を縦断する、険しい岩山が続くロッキー山脈である。
4. ヨーロッパ大陸の南部に位置し、登山や観光地として知られるアルプス山脈である。

問3 近年のベトナムで見られる、工業化に伴う貿易品目の転換について述べた次の文の空欄（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「ベトナムの輸出統計を確認すると、経済成長に合わせて（X）が急増している。また、輸出品目は米などの（Y）から機械類などの工業製品へと変化したことが読み取れる。」（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. X：貿易総額、Y：農産物
2. X：輸入の割合、Y：鉱山資源
3. X：国内総生産、Y：重化学製品
4. X：貿易総額、Y：衣類・繊維製品

問4 1990年代後半以降、中国において大豆の輸入量が急激に増加した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため
2. 国内での大豆の生産技術が飛躍的に向上し、加工品を海外へ輸出する量が増えたため
3. 主食である米の消費が減り、その代替品として国内自給率を100%にする政策がとられたため
4. 食生活の欧米化によりパンの消費が増え、小麦の代わりに大豆の国内生産を制限したため

問5 インドネシアなどの東南アジア諸国で見られる「熱帯雨林の減少」について、その背景にある社会的な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 先進国などへの輸出を目的としたパーム油の生産や、木材の伐採といった経済開発が進んだため
2. 伝統的な焼畑農業が爆発的に増加し、それ以外の産業が衰退して森林の再生が追いつかなくなったため
3. 砂漠化を防ぐために外来種の植林を優先し、もともとあった熱帯雨林をすべて植え替えたため
4. 冷帯のタイガと同じように、住宅建設用の針葉樹を大量に輸出する政策へと転換したため

問6 中国における1980年から2050年までの年齢別人口構成の推移をまとめた統計において、将来的にその割合が低下し、製造業などにおける労働力不足を招くと懸念されている「15歳から64歳」の人口区分を何と呼びますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 生産年齢人口
2. 年少人口
3. 老年人口
4. 非労働力人口

問7 ブルネイの経済を分析する際、国際的な原油価格の変動がその国の輸出総額にどのような影響を与えているかを調査することになりました。資料として「原油価格の推移」および「輸出総額の推移」の2つを用意しましたが、その因果関係を裏付けるための3つ目の指標として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 輸出総額に占める原油の割合
2. 輸入総額に占める自動車の割合
3. 原油の輸出先となっている国々の数
4. 国内における総人口の推移

問8 韓国は1980年代から2010年代にかけて急速な経済発展を遂げましたが、この期間における輸出品目の変化について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目が変化した。
2. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の輸出が中心となり、工業製品の輸出額を大きく上回るようになった。
3. 1980年代には機械類が輸出の50%以上を占めていたが、2010年代には農産物の輸出が中心となった。
4. 伝統的な工芸品や絹織物の輸出を国家戦略の中心とし、安定した経済成長を維持し続けている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。	南アジアはかつてイギリス領インドとして統治されていましたが、独立の際に宗教的な対立から、ヒन्दゥー教徒が多数派のインドと、イスラム教徒が多数派のパキスタン（後のバングラデシュを含む）に分かれた経緯があります。スリランカやブータンでは、仏教徒が多くなっています。
問2	<b>答え 1</b> 標高8000mを超える山々が連なり、世界の屋根とも称されるヒマラヤ山脈である。	アジア大陸とインド亜大陸が衝突し、地殻が押し上げられたことで形成された、世界で最も標高が高い山脈です。インド北部の国境付近を東西に走るこの山脈には、エベレストをはじめとする標高8000m級の高峰が集中しており、周辺地域の気候や文化にも多大な影響を与えています。
問3	<b>答え 1</b> X：貿易総額、Y：農産物	開発途上国が経済発展を遂げる過程では、一般的に貿易の規模が拡大し、輸出内容が変化します。ベトナムの場合、1980年代と比較して貿易総額が著しく増加しており、その内容は付加価値の低い農産物から、付加価値の高い機械類などの工業製品へと転換しました。これにより、ベトナムは「世界の工場」の一部として国際的な分業体制に組み込まれるようになりました。
問4	<b>答え 1</b> 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため	中国では経済発展に伴って国民の生活水準が向上し、食生活が多様化したことで肉類の消費量が増加しました。これを受けて豚や牛などを育てるための飼料としての需要や、調理に欠かせない大豆油の原料としての需要が急増しました。国内の大豆生産量はわずかな増加にとどまっているため、不足分を補うために輸入量が急激に拡大しています。
問5	<b>答え 1</b> 先進国などへの輸出を目的としたパーム油の生産や、木材の伐採といった経済開発が進んだため	熱帯雨林の減少は、単なる伝統的な焼畑農業だけが原因ではなく、外貨を獲得するための大規模な開発が主因となっています。特に油やしの農園開発や、家具・建材のための木材伐採、さらには鉱山開発などが、国の経済成長を支える一方で環境破壊を招くという、開発と環境保全のジレンマが生じています。
問6	<b>答え 1</b> 生産年齢人口	15歳から64歳までの層は「生産年齢人口」と呼ばれ、社会の経済活動を支える中心的な存在です。中国では長年続いた一人っ子政策などの影響で少子高齢化が進んでおり、この層の人口減少が将来の経済成長を抑制する要因として問題視されています。
問7	<b>答え 1</b> 輸出総額に占める原油の割合	特定の製品の価格変動が国全体の輸出額に与える影響を知るためには、その製品への経済依存度を把握する必要があります。「輸出総額に占める原油の割合」が高いほど、国際的な原油価格の変動が直接的に輸出額の増減に結びつくため、統計を比較する際の重要な根拠となります。自動車の輸入割合や人口推移は、輸出額の変動理由を説明する直接的な指標にはなりません。
問8	<b>答え 1</b> 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目に変化した。	韓国は1980年代以降、政府主導の輸出志向型工業化を推進しました。初期は賃金の安さを活かした衣類などの軽工業が中心でしたが、教育水準の向上や技術開発への投資により、次第に高度な技術を要する機械類、自動車、半導体といった重化学工業製品が輸出の大部分を占めるまでに成長しました。

# 中学地理プリント（過去問類似）

## アジア州

名前

得点

/8

**問1** 東南アジアの10か国が加盟し、地域の政治・経済・文化における相互の協力を進めることを目的として設立された地域協力機構を何というか、名称を選びなさい。（2016年 兵庫公立入試 類似）

1. ASEAN（東南アジア諸国連合）      2. EU（欧州連合）      3. APEC（アジア太平洋経済協力）      4. TPP（環太平洋パートナーシップ協定）

**問2** 南アジアでは、半年ごとに風向きが変化する季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。夏にインド洋からヒマラヤ山脈に向かって吹く湿った風が多く、雨をもたらすことを利用して、ガンジス川の中・下流域で盛んに栽培されている農作物を次の中から選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 米      2. 小麦      3. 綿花      4. コーヒー

**問3** 日本企業がベトナムなどの海外に生産拠点を移転させる背景には、生産コストをめぐる国際的な要因があります。日本の月平均賃金が約3000ドル弱であるのに対し、ベトナムが約300ドル強という状況において、この賃金格差が企業活動に与える影響についての説明として適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。      2. 現地の労働者の賃金を日本並みに引き上げることで、現地でのブランドイメージを向上させる。      3. 労働力の確保よりも、現地の最先端の製造技術を日本へ逆輸入することを主な目的とする。      4. 生産コストの低減よりも、現地の環境規制を回避することを最大の目的として移転する。

**問4** 二酸化炭素の年間総排出量が2000百万トンを超えて世界でも有数の排出国となっている一方で、膨大な人口を抱えるために国民1人あたりの国内総生産（GDP）は相対的に低い水準にとどまっている国はどこですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. インド      2. 中国      3. ブラジル      4. 南アフリカ共和国

**問5** 西アジアに位置し、イスラム教の聖地であるメッカを国内に抱えるサウジアラビアなどの地域において、人々の生活に深く根付いている習慣として正しいものはどれですか。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. ラマダンと呼ばれる期間には、日の出から日没まで飲食を断つ儀式が行われる。      2. 一日に三回、自分たちが住んでいる地域の中心都市に向かって礼拝を行う。      3. 食事の際には左手を清浄な手と考え、主に左手を使って料理を口に運ぶ。      4. 殺生を禁じる教えに基づき、全ての動物の肉を食べる習慣がない。

**問6** 日本の食料輸入において、魚介類や野菜・果実の輸入相手国として1位を占める国との貿易関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 地理的な近接性と生産コストの低さを背景に、日本のスーパーマーケットなどで販売される生鮮食品や加工食品の主要な供給源となっている。      2. 広大な国土を活かした企業的な大規模農業が特徴であり、主に小麦やトウモロコシといった穀物の供給において1位となっている。      3. 熱帯の気候を利用したプランテーション農業が盛んであり、バナナやエビなどの特定の品目に特化した輸出が中心である。      4. 広大な乾燥帯での放牧による畜産が盛んであり、牛肉や羊毛といった畜産物の輸入額において不動の1位を維持している。

**問7** 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。（2024年 佐賀公立入試 類似）

1. 少子高齢化による労働力不足      2. 死亡率の上昇による人口急減      3. 都市人口の過度な集中      4. 平均寿命の短縮化

**問8** 東南アジアに位置し、赤道直下の多くの島々からなるインドネシアでは、近年、急速な開発にともない貴重な熱帯雨林が減少していることが国際的な課題となっています。この開発の主な目的となっている農産資源として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 加工食品や洗剤の原料となる油やし（パーム油）      2. パンや麺類の原料となる広大な農地での小麦      3. 地中海沿岸で広く栽培されるオリーブ      4. 衣料品の原料となる乾燥帯での綿花

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ASEAN (東南アジア諸国連合)</b>	東南アジア諸国連合 (ASEAN) は、1967年の結成当初は5か国でしたが、冷戦の終結などを経て現在はミャンマーやベトナムを含む10か国が加盟しています。域内の平和と安定を維持するだけでなく、関税の撤廃などを通じた経済の活性化や、文化的な交流を深める重要な役割を担っています。
問2	<b>答え 1</b> <b>米</b>	南アジアのガンジス川流域では、夏の季節風 (モンスーン) がインド洋から湿った空気を運ぶため、非常に降水量が多くなります。稲の生育には大量の水を必要とするため、この気候特性を活かして米の栽培が盛んに行われています。一方、より乾燥した地域や降水量の少ないインダス川流域などでは小麦の栽培が中心となります。
問3	<b>答え 1</b> <b>安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。</b>	企業が海外進出を検討する際、特に製造業においては人件費がコストの大きな割合を占めます。統計に示されているような10倍近い賃金格差は、企業にとって大きな魅力となります。低賃金労働力を活用して安く製品を作るとは、消費者に低価格で提供できることを意味し、これがグローバル経済における大きな強みとなります。
問4	<b>答え 1</b> <b>インド</b>	インドは世界最多の人口を抱え、急速な経済発展の過程にあります。エネルギー源を安価な石炭に依存しているため、国全体の二酸化炭素排出量は中国やアメリカに次ぐ規模に達していますが、国民の所得水準を示す1人あたりの国内総生産 (GDP) は、他の新興経済発展国 (BRICS) の国々と比較してもまだ低い段階にあるのが統計上の大きな特徴です。
問5	<b>答え 1</b> <b>ラマダンと呼ばれる期間には、日の出から日没まで飲食を断つ儀式が行われる。</b>	イスラム教を信仰する地域では、一日に5回の礼拝を聖地メッカの方角に向かって行う。ラマダン (断食) はイスラム教徒の義務の一つであり、約1ヶ月間、日中の飲食を控えることで信仰心を高める。また、生活習慣として左手は「不浄の手」とされているため、食事には右手を用いるのが一般的である。
問6	<b>答え 1</b> <b>地理的な近接性と生産コストの低さを背景に、日本のスーパーマーケットなどで販売される生鮮食品や加工食品の主要な供給源となっている。</b>	2008年時点の統計で農水産物の輸入額1位である中国は、日本に近いという利点があるため、輸送時間が短く済む野菜などの生鮮食品の輸出に適しています。また、安価な労働力を背景に、現地で栽培・加工してから日本へ輸出する「開発輸入」も盛んに行われてきました。
問7	<b>答え 1</b> <b>少子高齢化による労働力不足</b>	長年にわたる一人っ子政策の結果、出生率が大幅に低下したことで、将来的に現役世代が減り、高齢者の割合が高まる「少子高齢化」が深刻化しています。これにより、経済成長を支えてきた豊富な労働力が不足することが、中国経済にとっての大きな懸念材料となっています。このため、近年では一人っ子政策が廃止され、出産を奨励する方針に転換されています。
問8	<b>答え 1</b> <b>加工食品や洗剤の原料となる油やし (パーム油)</b>	インドネシアやマレーシアでは、世界的な需要が高まっているパーム油を生産するため、油やしのプランテーション (大規模農園) の開発が優先されてきました。この開発のために広大な熱帯雨林が伐採されたり、泥炭地が乾燥させられたりしており、生物多様性の喪失や二酸化炭素の排出が大きな問題となっています。

問1 1990年から2020年にかけての中国とインドの統計について、国民一人当たりの国内総生産（GDP）と人口増加の推移を比較した説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 愛知公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 中国は国民一人当たりの国内総生産が飛躍的に増加し、インドは中国を上回るペースで人口の増加割合が上昇した。 | 2. インドは国民一人当たりの国内総生産が減少したが、人口の増加によって国内総生産の総額が中国を上回った。 | 3. 中国は一人っ子政策の影響で人口が激減したが、インドは経済成長を優先したため人口増加が停滞した。 | 4. どちらの国も経済成長の速度は同じであったが、中国のみが2023年に人口世界第1位から転落した。 |
|---|---|--|--|

問2 世界の米の生産状況について、生産地域が中国、日本、東南アジア、インドなどの沿岸部や島嶼部に圧倒的に集中している州はどこですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

- |         |           |           |          |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. アジア州 | 2. 北アメリカ州 | 3. ヨーロッパ州 | 4. アフリカ州 |
|---------|-----------|-----------|----------|

問3 東南アジアのインドシナ半島において、その東側の沿岸部に南北に長く位置し、近年では安価で豊富な労働力を背景に多くの日本企業が進出している国を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）

- |         |       |           |          |
|---------|-------|-----------|----------|
| 1. ベトナム | 2. タイ | 3. インドネシア | 4. フィリピン |
|---------|-------|-----------|----------|

問4 東南アジア諸国連合（ASEAN）の活動内容や特徴について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 福島県公立入試 類似）

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 加盟国間での関税を原則として撤廃し、域内の貿易を活発にすることで経済成長を図っている。 | 2. 加盟国すべてが共通の通貨を導入することで、経済的な格差をなくす取り組みを行っている。 | 3. 太平洋を取り囲む日本やアメリカ合衆国など、東南アジア以外の多くの国とも経済協力を行っている。 | 4. 域内の農作物を保護するため、域外の国から輸入される農産物に対して一律に高い関税をかけている。 |
|--|---|---|---|

問5 中国の農業において、北部の地域で小麦の生産量が世界的に見ても極めて多い理由として、自然環境の観点から説明したものを選びなさい。（2024年 石川公立入試 類似）

- |                                    |                                     |                                      |  |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 年降水量が比較的少なく乾燥している気候が、畑作に適しているため | 2. 年間を通じて温暖多湿な気候であり、水田での二毛作が容易であるため | 3. 季節風の影響を全く受けないため、一年中安定した収穫が可能であるため | 4. 石炭の産出量が多いため、そのエネルギーを利用した大規模な温室栽培が普及しているため |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|

問6 私たちの身の回りにある洗剤やシャンプー、またラクトアイスやマーガリンといった食品には、パーム油が原材料として多く使われています。このパーム油の原料となる植物の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

- |          |         |           |          |
|----------|---------|-----------|----------|
| 1. アブラヤシ | 2. ココヤシ | 3. トウモロコシ | 4. サトウキビ |
|----------|---------|-----------|----------|

問7 2020年の統計において、生産量の割合が1位のアメリカ合衆国（15.1%）、2位のロシア（13.7%）、3位のサウジアラビア（12.3%）で世界全体の約4割を占めている、現代の生活や工業製品の原料、主要なエネルギー源として欠かせない鉱産資源は何ですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

- |       |       |        |         |
|-------|-------|--------|---------|
| 1. 原油 | 2. 石炭 | 3. 鉄鉱石 | 4. 天然ガス |
|-------|-------|--------|---------|

問8 1995年に東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟し、社会主義体制を維持しながらも、日本などの外国からの直接投資や企業の進出を積極的に受け入れることで急速な工業化を推進している国はどこか、次の中から選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）

- |         |            |        |        |
|---------|------------|--------|--------|
| 1. ベトナム | 2. サウジアラビア | 3. ドイツ | 4. ペルー |
|---------|------------|--------|--------|

問9 2013年から2017年にかけての日系企業の拠点数に関する統計において、中国は約3万拠点と数は多いものの微増にとどまっているのに対し、ハノイ付近を拠点として約1300拠点から1800拠点超へと約4割の急成長を見せている東南アジアの国はどこですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

- |       |         |       |           |
|-------|---------|-------|-----------|
| 1. タイ | 2. ベトナム | 3. 韓国 | 4. インドネシア |
|-------|---------|-------|-----------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 中国は国民一人当たりの国内総生産が飛躍的に増加し、インドは中国を上回るペースで人口の増加割合が上昇した。	1990年から2020年の30年間で、中国は「世界の工場」としての地位を確立し、国民一人当たりの国内総生産（GDP）を大きく右肩上がりに伸ばしました。対してインドは、経済成長も進んでいるものの、特に人口増加の勢いが強く、2005年を基準とした人口の伸び率では中国を大きく上回る推移を見せています。この結果、2023年にインドが人口世界第1位となりました。
問2	<b>答え 1</b> アジア州	米は生育期に高温多湿な環境を必要とする作物です。世界の米生産の約9割は、季節風（モンスーン）の影響を強く受ける東アジア、東南アジア、南アジアに集中しています。これらの地域では古くから稲作が生活の基盤となっており、他の州と比較しても圧倒的な生産地点の密度を誇ります。
問3	<b>答え 1</b> ベトナム	インドシナ半島の東側に位置するこの国は、近年「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策などを通じて市場経済を導入しました。豊富な若年労働力を背景に、中国に代わる新たな製造拠点（チャイナ・プラス・ワン）として、多くの日本企業が工場を置いています。
問4	<b>答え 1</b> 加盟国間での関税を原則として撤廃し、域内の貿易を活発にすることで経済成長を図っている。	ASEANは自由貿易地域（AFTA）を形成し、域内での物品の移動にかかる関税をなくすことで経済を活性化させています。共通通貨を導入している欧州連合（EU）や、環太平洋の広い地域を対象とするアジア太平洋経済協力会議（APEC）とは、加盟国や統合の度合いが異なります。
問5	<b>答え 1</b> 年降水量が比較的少なく乾燥している気候が、畑作に適しているため	中国北部では、南部と比べて降水量が少なく、気候が乾燥しているため、水田が必要な稲作よりも、乾燥に強い小麦などの畑作が発展しました。この広大な平原を利用した大規模な栽培により、中国は小麦の生産量で世界一の座を占めています。なお、石炭は中国の重要な資源ですが、小麦の生産理由とは直接関係ありません。
問6	<b>答え 1</b> アブラヤシ	パーム油は熱帯地域で栽培されるアブラヤシの果実から得られる植物油です。安価で加工がしやすいため、食品から日用品まで幅広く利用されています。一方で、生産を拡大するために熱帯林が伐採され、農園開発が行われることで、生態系への影響が懸念されています。
問7	<b>答え 1</b> 原油	現代の高度な産業社会を支える不可欠なエネルギー源であり、プラスチックなどの石油化学製品の原料としても広く利用されています。2020年の統計では、シェールオイルの増産によりアメリカ合衆国が生産量1位となっており、次いでロシア、サウジアラビアといった国々が上位に名を連ねているのが特徴です。
問8	<b>答え 1</b> ベトナム	ベトナムは1986年から「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済を導入し、1995年には東南アジア諸国連合（ASEAN）へ加盟しました。安価で質の高い労働力を背景に、外資系企業の製造拠点を誘致することで、従来の農業中心の経済から工業化への転換を成し遂げています。他の選択肢については、サウジアラビアはペルシア湾岸の資源国、ドイツは欧州の共通通貨導入国、ペルーは南米の高地で放牧などが行われる国としての特徴を持ちます。
問9	<b>答え 2</b> ベトナム	東南アジアの中でもベトナムは、豊富な労働力や比較的低い賃金を背景に、日本の製造業の新たな拠点として急速に注目を集めています。中国に集中していた生産拠点を分散させる「チャイナ・プラス・ワン」の動きにより、すでに多くの拠点が展開されている中国と比較して、拠点数の増加率が非常に高くなっているのが特徴です。

# 中学地理プリント（過去問類似）

## アジア州

名前

得点

/8

**問1** 東南アジアのベトナムでは、近年多くの日本企業が工場を建設するなど、急速に経済が発展しています。日本やタイなどの周辺諸国と比較した際、多くの製造業がベトナムを新たな拠点として選んでいる主な理由として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）

- |                                    |                                      |   |  |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 熟練した労働者が豊富で、世界最先端の高度な技術開発が容易なため | 2. 周辺諸国に比べて労働者の平均賃金が安く、生産コストを抑えられるため | 3. 国内の市場規模が急速に縮小しており、余った製品を保管する拠点が必要なため | 4. 原材料となる天然資源が豊富で、エネルギー供給のすべてを国内で自給できるため |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|--|

**問2** マレー半島の南端に位置し、世界有数の人口密度を誇る都市国家についての説明として最も適切なものはどれですか。この国は東南アジア諸国連合（ASEAN）の創設メンバーであり、統計上、コンテナ取扱量が世界第2位となるほどの規模を持つ港を有しています。（2022年 東京都公立入試 類似）

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. 大型船が運んできた貨物を一度集約し、周辺諸国へ中継・配送するハブ港としての機能を持っている。 | 2. ライン川の河口に位置するユーロポートとして、ヨーロッパ州の物流の玄関口となっている。 | 3. 広大な国土と豊富な鉱産資源を背景に、鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が輸出の柱となっている。 | 4. 乾燥帯に属する西アジアの拠点であり、原油の輸出に特化した積出港としての役割のみを担っている。 |
|---|---|---|---|

**問3** 東南アジアにおける宗教の広がりについて、インドネシアやマレーシアなど、主に南側の島々（島嶼部）で最も多くの人々が信仰している宗教はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

- |          |       |          |           |
|----------|-------|----------|-----------|
| 1. イスラム教 | 2. 仏教 | 3. キリスト教 | 4. ヒンドゥー教 |
|----------|-------|----------|-----------|

**問4** 日本への輸出額がEUへの輸出額を上回っている東南アジアの国、インドネシアの宗教的・地理的背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

- |                           |                              |                                  |                                 |
|---------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 世界最大のイスラム教徒人口を抱える島国である | 2. 国民の約9割がキリスト教を信仰する多民族国家である | 3. 日本よりもヨーロッパ諸国との貿易額が常に大きい内陸国である | 4. 仏教徒が人口の大部分を占め、日本へは主に米を輸出している |
|---------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

**問5** 東アジアの諸国の中で、2020年代の統計においてインターネット利用率が約97%ときわめて高く、主な輸出商品に機械類や自動車が含まれ、かつ輸出入のいずれにおいても中国が最大の貿易相手国となっている国はどこか、名称を答えなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

- |         |        |            |         |
|---------|--------|------------|---------|
| 1. 大韓民国 | 2. インド | 3. オーストラリア | 4. メキシコ |
|---------|--------|------------|---------|

**問6** タイやマレーシアでは、1980年代以降に工業化が推進されました。2015年時点の統計において、タイでは輸出額の約31.6%、マレーシアでは約40.3%を占めるまでに成長した、工業化を象徴する品目を選びなさい。（2019年 佐賀公立入試 類似）

- |        |         |       |       |
|--------|---------|-------|-------|
| 1. 機械類 | 2. 天然ゴム | 3. 原油 | 4. 衣類 |
|--------|---------|-------|-------|

**問7** APEC（アジア太平洋経済協力）が、加盟している国や地域の間で行っている活動の目的や内容として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 滋賀公立入試 類似）

- |                                      |  |   |  |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 1. 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること | 2. 加盟国間で共通の通貨を導入し、中央銀行による一元的な金融政策を行うこと | 3. 軍事同盟を締結し、アジア太平洋地域の平和と安全を武力によって維持すること | 4. 加盟国間の国境を完全に廃止し、人々の移動を自由化する統合政府を作ること |
|--------------------------------------|--|---|--|

**問8** 日本企業のベトナムへの進出数は2015年の889社から2017年には1062社へと増加していますが、この現象の要因となった、東南アジア諸国の賃金水準に関する記述として正しいものを選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. ベトナムの平均賃金は中国の約3分の1以下という極めて低い水準にあり、企業にとって低コストでの生産が可能であること | 2. ベトナムの平均賃金は中国と同等であるが、日本からの距離が近いことため輸送コストが大幅に抑えられること | 3. 東南アジア諸国では日本と同じ賃金水準での雇用が義務付けられており、労働環境が安定していること | 4. ベトナム政府が平均賃金を急激に引き上げたことで、労働者の意欲が高まり生産効率が向上したこと |
|---|---|---|--|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 周辺諸国に比べて労働者の平均賃金が安く、生産コストを抑えられるため	アジアの諸地域では、経済発展の段階に応じて労働賃金に差が生じています。ベトナムは、日本や既に経済成長が進んでいるタイなどの周辺国と比較して「平均賃金が安い」という特徴があります。製造業を中心とした企業は、製品の生産コストを低く抑えるために、このような安価で豊富な労働力を求めて工場を移転したり、新たに拠点を設けたりする「企業の進出」を積極的に行っています。
問2	<b>答え 1</b> 大型船が運んできた貨物を一度集約し、周辺諸国へ中継・配送するハブ港としての機能を持っている。	シンガポールは海上交通の要所に位置しており、自国の市場だけでなく、周辺の東南アジア諸国などへ荷物を中継する「ハブ港」としての役割を果たすことで経済を成長させてきました。国土が狭いため農業や資源産出には向きませんが、高度な港湾設備や自由貿易体制を整えることで、世界トップクラスの貨物取扱量を維持しています。
問3	<b>答え 1</b> イスラム教	インドネシアやマレーシアでは、中世以降に海上交易を通じて伝わったイスラム教が広く信仰されています。特にインドネシアは世界で最もイスラム教徒の人口が多い国として知られています。なお、同じインドネシア国内でも観光地として有名なバリ島では、例外的にヒンドゥー教が信仰されています。
問4	<b>答え 1</b> 世界最大のイスラム教徒人口を抱える島国である	インドネシアは東南アジア諸国連合（ASEAN）の主要メンバーであり、国民の8割以上がイスラム教を信仰しています。これは世界で最も多いイスラム教徒人口です。また、鉱物資源やエネルギー資源の輸出を通じて日本と深く関わっており、統計上も日本への輸出額がEU向けの輸出額を大きく上回る傾向にあります。フィリピンなどはキリスト教徒が多い島国ですが、インドネシアとは宗教構成が異なります。
問5	<b>答え 1</b> 大韓民国	大韓民国は1970年代以降、急速な工業化を遂げてNIEs（新興工業経済地域）の一角として発展しました。現在は情報通信技術（ICT）の普及が非常に進んでおり、世界トップクラスのインターネット利用率を誇ります。産業構造としては、半導体などの電子機器を含む機械類や自動車が主要な輸出商品となっており、地理的に近く経済的結びつきが強い中国が最大の貿易相手国となっています。
問6	<b>答え 1</b> 機械類	1980年時点では、タイやマレーシアの主要な輸出品目は天然ゴムや原油、木材などの一次産品でした。しかし、その後の工業化によって輸出額全体が大きく伸びるとともに、輸出品目の内容も変化しました。2015年にはどちらの国でも機械類の輸出が最も大きな割合を占めるようになり、特に電子機器や電気機器、自動車部品などの工業製品が世界各地へ輸出されています。この変化は、東南アジアが「世界の工場」の一部として機能するようになったことを示しています。
問7	<b>答え 1</b> 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること	APECは、加盟している国・地域の多様性を尊重しながら、経済的な結びつきを深めることを目指しています。具体的には、貿易の壁を低くすること（自由化）、通関手続きなどを簡素化すること（円滑化）、そして途上国への技術協力などを通じて、地域全体の経済成長を後押しする活動を行っています。通貨の統合や軍事的な協力は目的として含まれていません。
問8	<b>答え 1</b> ベトナムの平均賃金は中国の約3分の1以下という極めて低い水準にあり、企業にとって低コストでの生産が可能であること	統計によれば、日本の平均賃金を100とした場合の指数は中国が31.0であるのに対し、ベトナムは8.5と、中国の3分の1を下回る低い水準にあります。このように、東南アジア諸国は中国と比較しても平均賃金が安価であるため、日本企業にとって製造コストを低く抑えられるメリットがあり、進出企業数の増加につながっています。